

これからやりたいこと

今年も医師会誌で緑陰随想を募集する季節となった。折角だから、何か書いてみよう。

ますます人生の終点に近付き、あの世へ行く前にやっておきたいことは何だろうと考えるようになった。

1. もう一度だけ北アルプスの穂高岳に登りたい。初登頂は1955年7月31日だった。過去60年の間に20回くらい出かけた。白石整形外科のホームページには“最高の散歩道”と題して、作文を載せてある。岩山の魅力は凄い。若いころには、涸沢にテントを張って、滝谷やジャンダルムの飛騨尾根でロッククライミングみたいなこともやっていた。最近では、一昨年の上高地から徳澤まで行ったが、大雨で逃げ帰った。問題は、ここ2年くらい前から急速に老化が進み、銀座を歩いていてもよろめくようになり、杖を欲しくなった。今年の海の日連休に、もう一度だけ歩いてみることにした。頂上に到達できるかどうかは、この文章が印刷される頃には判明しているだろう。
2. 今のところ、12時間飛行機に乗っていることは気にならない。時差ボケも殆ど大丈夫。年齢の割には幸せな方かもしれない。8月にハンガリー、チェコ、スロバキア、オーストリアあたりをふらつく予定だ。暮れにはアラスカへオーロラを見に行く予約をとった。
3. 写真は、今のところ、かなり熱心にやっている。1~2年後に、またエイゾーガレリア銀座を貸し切りにして、妻と二人展をやろうと思っている。その為に二人で写真を撮り貯めている。僕が初めて銀座1丁目で個展“大自然と野生動物たち”を開いたのは3年前だったと思う。大勢の方が銀座まで見に来て下さり、友の有難さが身に染みてわかった。本当に有難うございました。会場の受付嬢たちが、“白石さんの時は、とっても観客が多かった”と言ってくれたのが嬉しかった。昨日妻と話しているうちに、市民ギャラリーの抽選にあたらしたら、今度は高山植物展をやろうということになった。綺麗な高山植物の花の写真も百枚位あるはずだ。
4. 1960年代の初めに東京トーストマスターズクラブに入会し、パブリックスピーキングを勉強している。このクラブの例会に確実に出席できるようにと、それ以来、木曜日には仕事をしていない。これって、クレージーって言うのかな？ 昨年11月に、50年の最長期メンバーとして表彰され、日本地区の荣誉殿堂入りした。7月11日現在、日本に172（現在どんどん増加中）クラブあり、一番古いクラブの一番古いメンバーということになった。初めの40年間は喋る能力が確実に進歩した。最近の数年间は、明らかに衰えてきている。困ったことだ。特に、英語を聴いて、理解する能力が減退してきて、人のスピーチを正確に理解できなくなってきた。おまけに、老人性難聴の特徴として、高音部が特に聞こえなくなり、イギリス人の女性の英語が聴き取れない

くなった。一生懸命調べてみたら、二つの論文が見つかった。わかったことは、イギリス人女性はアメリカ人女性に比べて、遥かに高音域でしゃべっているということだった。つまり、老人性難聴の僕にはイギリス人女性の声はキャッチできないというわけだ。友人に大変な迷惑をかけないうちに、今年いっぱい引退を考えている。ところが、最近になって、片側40万円以上する補聴器を買ってみたら、今までと比べて、英語も非常によく聴こえることが判明し、引退を迷い始めた。スピーチのクラブはとてもストレスが多いが、ボケ防止には最適だ。

5. スキーは1953年以来続けている。スキーで滑っている時だけは老化現象を気にならない。最近のスキーは靴とスキーが一体になって、僕の身長、体重、脚力に合わせてあるから、スキーの先端を下の方へ向けて、立っていれば自然に前へ動く。右へよろけると、右へ曲がり、左へよろけると、左へ曲がる。結構うまくやれるようにできている。体が後ろへ行かないように注意することが大切だという点は今でも変わらない。3年前までは、ひと冬に20日位滑っていたが、ここ二年間は諸般の事情で、16日位しかスキーに行けなかった。来シーズンは20日以上を目指そう。

6. 10年余前にやってみた水上スキー、パラグライダーはとっても気持ちよかったが、老人には向かなそうだ。改めて老人用の趣味を探したいのだが、何かないかな？ ゲートボールをやる気にはならないし。誰か楽で楽しい趣味を教えてくれないかな？
結局は、今のままそつと終末まで行ければ幸せと思うほかない様だ。

駒場教養学部の同級会の幹事を2-3年やらされている。全員80歳を超えた昨年で最終回と決めたが、“今年も会いたい”と学士会館に集まった。元々30人いたのに、20人以上はあの世へ行ってしまい、生き残っている連中も起立歩行ままならず、実際には4人しか集まらなかった。寂しい限りだ。

まあ、これで緑陰随想ということでお茶をにごそう。来年の緑陰随想にはもっと面白いことを書けるといいな。もしかすると、既にあの世へ行って、草葉の陰から見守っているかも。

7月11日

浦和医師会4班 白石 悟